

# 2021年3月期第3四半期 決算説明資料

2021年2月9日（火）  
株式会社 **力ネカ**

# 目 次

---

業績概要	1
セグメント別 売上高・営業利益	2
事業概況	3
貸借対照表	7
業績予想の修正	8

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



(単位：億円)

	2020年3月期				2021年3月期				3Q増減		3Q累計増減	
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計	金額	%	金額	%
売上高	1,488	1,510	1,526	4,525	1,266	1,401	1,548	4,215	22	1.4%	△ 310	△6.8%
営業利益	70	58	61	189	20	50	103	173	42	68.8%	△ 16	△8.5%
経常利益	55	42	55	151	8	32	86	126	32	57.7%	△ 25	△16.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	35	26	32	92	4	20	72	97	40	125.4%	4	4.6%

- 当社グループの業績は、1Qをボトムに順調に回復、3Qは売上・利益ともに前年同期を上回った
- 特に3Qの業績は海外市場を中心とした販売拡大により売上高は1,500億円台に戻し、営業利益も100億円超の大幅増益を達成
- 4Q以降も不確実な事業環境のなかでも、海外市場を柱とした強いモメンタムは続く想定。連結業績予想を上方修正する

(参考) 海外売上高比率： 1Q 36% 2Q 39% 3Q 42%



# セグメント別 売上高・営業利益



カガクでネガイをカナエル会社

(単位：億円)

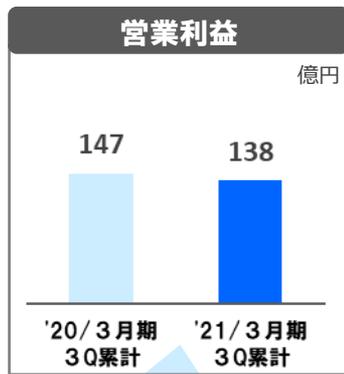
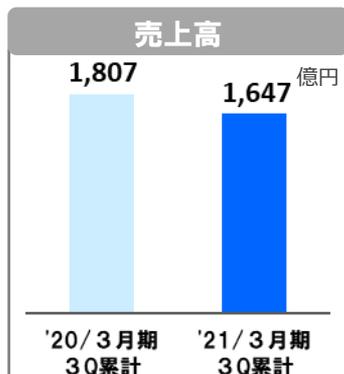
	売上高											
	2020年3月期				2021年3月期				3Q増減		3Q累計増減	
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計	金額	%	金額	%
Material SU	602	602	602	1,807	489	556	602	1,647	△0	△0.0%	△159	△8.8%
Quality of Life SU	385	404	397	1,187	297	339	392	1,028	△6	△1.5%	△158	△13.3%
Health Care SU	109	110	113	333	117	128	141	385	28	24.6%	53	15.9%
Nutrition SU	389	391	411	1,191	359	376	411	1,146	△0	△0.1%	△45	△3.8%
その他	3	2	2	8	4	2	2	9	△0	△2.4%	0	6.0%
調整額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,488	1,510	1,526	4,525	1,266	1,401	1,548	4,215	22	1.4%	△310	△6.8%

(単位：億円)

	営業利益											
	2020年3月期				2021年3月期				3Q増減		3Q累計増減	
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計	金額	%	金額	%
Material SU	56	46	45	147	29	45	65	138	20	44.7%	△8	△5.7%
Quality of Life SU	37	39	38	114	12	27	44	84	7	17.5%	△30	△26.3%
Health Care SU	19	21	20	60	23	27	32	82	12	60.8%	21	35.3%
Nutrition SU	12	12	16	40	8	6	19	33	3	16.6%	△7	△16.6%
その他	2	1	1	4	2	1	1	4	△0	△8.7%	0	11.4%
調整額	△56	△61	△59	△176	△54	△56	△58	△169	0	-	7	-
計	70	58	61	189	20	50	103	173	42	68.8%	△16	△8.5%

※SU : Solutions Unit

- コロナ禍において成長機会が拡大しているHealth Care SU (Medical、Pharma)、Supplement、E&Iなど先端事業群が収益を伸ばした。1Qに需要が落ち込んだMaterial SU (Vinyl、MOD)、Fiberなどコア事業群の業績も2Q以降は順調に持ち直し、ポートフォリオ変革が進展した



## Vinyls and Chlor-Alkali

- 塩ビポリマー輸出、コロナ対応のディスポーザブル手袋用途のペースト販売好調
- 3Qは前年から大幅増益

## Performance Polymers (MOD)

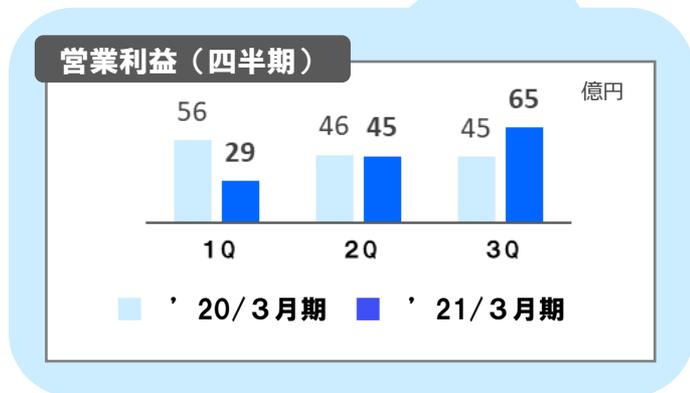
- 2Qから市場回復
- 欧州の建材・DIY用途、アジアの非塩ビ用途（パソコン・家電）需要が回復・拡大
- 3Qの販売は前年水準を超える

## Performance Polymers (MS)

- 欧米の建築用途の需要堅調
- 中国も建築用途や工業用途の需要拡大
- 3Qの販売は前年水準を超える

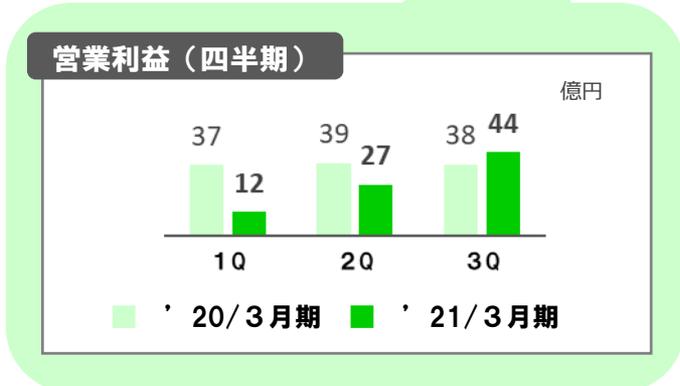
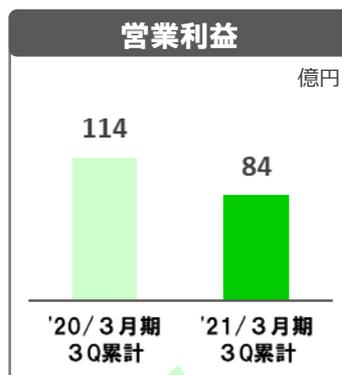
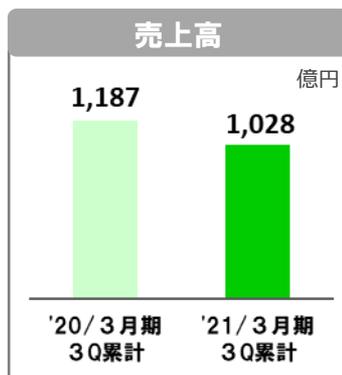
## 新規事業

- PHBH：大手ブランドホルダーとの共同開発を推進中。量産プラント建設に向け市場ニーズに応える加工技術、コストダウンの検討を進めている





# 事業概況 (Quality of Life Solutions Unit)



## Foam & Residential Techs

- EPS・KLFは国内需要低調もシェア拡大
- EPOは自動車生産回復に伴い需要回復

## PV & Energy management

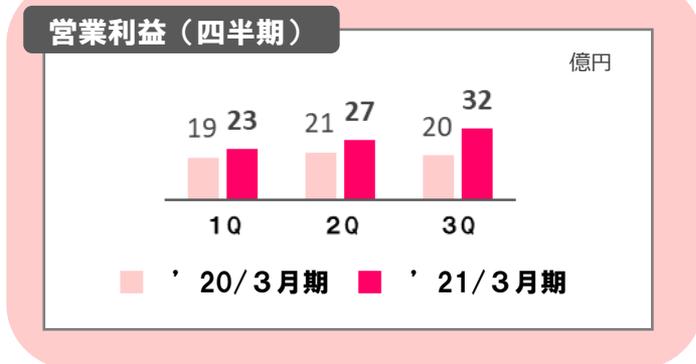
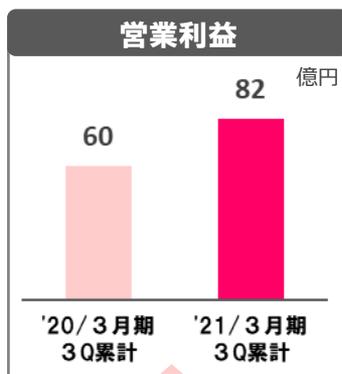
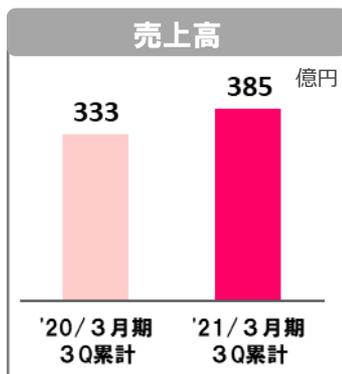
- 住宅向け高効率太陽電池は搭載率アップし販売増

## E & I Technology

- スマホ・タブレット・ノートPC向けピクシオは過去最高レベルの出荷
- 5Gスマホ向け新製品開発も進展、ポリイミドワニスも販売拡大

## Performance Fibers

- 頭髮分野は1Qの需要低迷から回復、3Qの販売は前年を上回る
- パイル、難燃分野はスローな需要回復

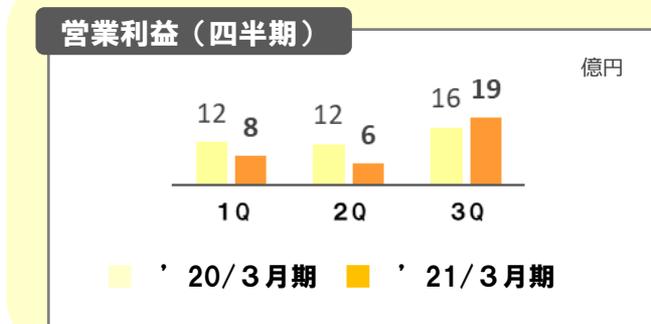
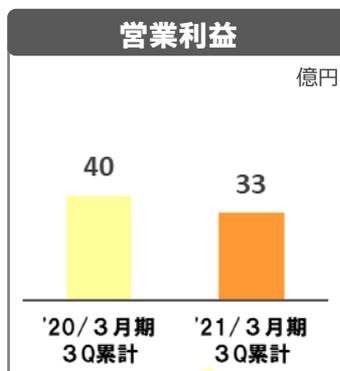
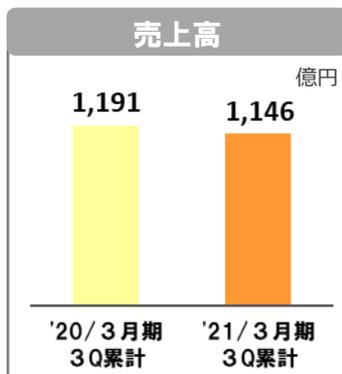


## Medical

- カテーテルは脳動脈瘤塞栓コイルの国内販売好調、米国の販売開始が収益拡大に寄与
- A S O治療用の新血液浄化器は今春に発売予定

## Pharma

- アビガン原薬の供給、KEGTのPCR検査試薬、コロナワクチン中間体の受託製造拡大、前年より大幅増益
- バイオ医薬品増設ライン戦力化、ワクチン中間体供給が収益拡大に寄与する見通し



## Supplemental Nutrition

- 「免疫力アップ」意識が高まり、還元型QHが欧米で販売増
- 欧州で好調なAB-Biotics社の乳酸菌製品は米国販売開始

## Foods & Agris

- 製パン・製菓分野の需要は回復基調もインバウンド需要減、外食産業向け低迷続く
- スパイス製品は堅調
- 還元型QH配合「わたしのチカラ Q10ヨーグルト」、「パン好きのミルクティー」を発売、乳製品の品揃え強化

(単位：億円)

	2020年3月末	2020年12月末	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	3,069	3,105	37
固定資産 等	3,464	3,522	58
資産合計	6,533	6,628	95
<b>負債の部</b>			
有利子負債	1,308	1,273	△ 36
その他	1,683	1,718	35
負債合計	2,992	2,991	△ 1
<b>純資産の部</b>			
自己資本	3,315	3,404	89
非支配株主持分 他	226	233	7
純資産合計	3,541	3,637	96
<b>負債、純資産 合計</b>	<b>6,533</b>	<b>6,628</b>	<b>95</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>50.7%</b>	<b>51.4%</b>	
<b>1株当たり純資産</b>	<b>5,082.08円</b>	<b>5,217.88円</b>	

- 総資産は、現金及び預金や投資有価証券の増加等により増加
- 負債は、借入金の減少等により減少
- 純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等により増加

# 業績予想の修正

## ■ 2020年度（4Q）の世界経済の見通し

- コロナ禍の影響は1Qをボトムに、2Qより回復に転じ、3Qの世界経済は前年並みに戻らないまでも、総じて回復基調となりました
- 但し、4Q以降は感染再拡大やワクチン普及が進まないことによる経済回復の遅れや、さらに原油はじめ原材料価格高騰、円高進行など不確実な事業環境が続くと思われる  
今後とも情勢を注視する必要ある

## ■ 当社業績見通し

- 事業ポートフォリオ変革が進み、先端事業群であるHealth Careのカテーテルやバイオ医薬品、E&Iのポリイミド製品や光学フィルム等が着実に収益を拡大する
- また、1Qに低迷したMaterialはアジア向け特殊塩ビやMOD、MSなどがグローバルな地産地消型の事業特性を発揮し販売が拡大
- 4Q以降もこの海外市場を柱とした強いモメンタムは続くと想定

## ■ R & B 「選択と集中」やDX推進

- 生産性の向上と新たなビジネス価値の創出に取り組み、事業基盤の強靱化を進める

## ■ DNAワクチン中間体やPCR検査試薬を提供など積極的に社会貢献を推進



# 業績予想の修正

- 今後も事業ポートフォリオ変革実現に向け、先端事業、新規事業に積極的に資源を投入、新事業、新製品創出に取り組み、中期計画で掲げた目標の達成を目指す
- 以上の状況により、2020年8月12日に発表した連結業績予想を修正する

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期		増減	
	実績	前回予想 (8/12)	修正予想	対前回予想	対前年
売上高	6,015	5,600	5,650	50	△ 365
営業利益	260	210	250	40	△ 10
経常利益	202	164	190	26	△ 12
親会社株主に帰属する 当期純利益	140	100	140	40	0
<b>1株当たり当期純利益</b>	<b>214.70円</b>	<b>153.31円</b>	<b>214.62円</b>		

※ 2021年3月期第4四半期の為替レート、原料価格は、105円/米ドル、125円/ユーロ 国産ナフサ価格38,000円/KLを想定

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



# 業績予想の修正（セグメント別）

（単位：億円）

	売上高					営業利益				
	2020年 3月期	2021年 3月期		増減		2020年 3月期	2021年 3月期		増減	
	実績	前回予想 (8/12)	修正予想	対前回予想	対前年	実績	前回予想 (8/12)	修正予想	対前回予想	対前年
Material SU	2,418	2,155	2,260	105	△ 158	206	155	203	48	△ 3
Quality of Life SU	1,548	1,366	1,365	△ 1	△ 183	142	94	107	13	△ 35
Health Care SU	464	525	520	△ 5	56	89	115	115	0	26
Nutrition SU	1,574	1,544	1,495	△ 49	△ 79	56	53	46	△ 7	△ 10
その他	11	10	10	0	△ 1	5	6	6	0	1
調整額	-	-	-	-	-	△ 239	△ 213	△ 227	△ 14	12
<b>計</b>	<b>6,015</b>	<b>5,600</b>	<b>5,650</b>	<b>50</b>	<b>△ 365</b>	<b>260</b>	<b>210</b>	<b>250</b>	<b>40</b>	<b>△ 10</b>

※SU：Solutions Unit

※ 2021年3月期第4四半期の為替レート、原料価格は、105円/米ドル、125円/ユーロ 国産ナフサ価格38,000円/KLを想定

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

＜IRに関するお問い合わせ＞

株式会社 **カネカ** IR・広報部

TEL : 03-5574-8090